

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-36 玉縄支所管理運営事務 □支援部門		
主管課	玉縄支所	関連課	
分野名	行財政運営・コミュニティ活動の活性化		
目標 (目標値)	地域住民の身近なところできめ細やかな行政サービスを提供するとともに、支所機能の充実を図り、より一層の市民生活の向上・福祉増進を目指す。		

人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯	
	事業の対象者数	25,719人	25,622人	25,560人	
運営資源状況	決算値(千円)	32,993	34,865	33,698	
	(国・県)				
	(負担金等)	78	69	56	
	(一般財源)	32,915	34,796	33,642	
	人員配置数	5.0人	5.0人	5.0人	
	人件費(千円)	37,508	39,075	41,961	
	協働のパートナー				
事務事業運営経費	総事業費(千円)	70,501	73,940	75,659	
	市民1人当りの経費(円)	396	417	427	
	対象者1人当りの経費(円)	2,741	2,886	2,960	

ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	秦野市	日野市	立川市	三鷹市
	住所・戸籍異動	未実施	実施	実施	実施	支所なし	未実施	実施	実施	実施
	国保・年金移動	未実施	実施	実施	実施	支所なし	未実施	実施	実施	実施
	市税等の収納	未実施	実施	実施	実施	支所なし	実施	実施	実施	実施

指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
昼休み窓口業務の実施	◎	目標値	毎日	毎日	毎日	毎日	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	毎日	毎日	毎日	毎日	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面) (千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		
玉縄支所運営事務	5,464	玉縄支所管理運営事務	35,372	今後の方向性	A	理由・手法 老朽化の進む施設・設備の改修にあたり事業規模の拡大が必要不可欠であるが、それ以外の事業は現状を維持して行く。 証明手数料・目的外使用料・自販機設置場所貸付料等、事業を継続しながら可能な方法で財源を捻出する。
玉縄支所管理事務	27,529			今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法
				今後の方向性		理由・手法

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	①地域福祉の推進が重要視される中で、支所は、本庁業務の出先機関というだけでなく、地域の拠点として重要な機関となっている。そのような支所の役割を再認識し、業務に当たるよう職員の意識や資質をより高めていく。 ②施設・設備についての大規模な修繕を具体化していく。										
課題解決のための取組	①全職員が広範囲にわたる窓口事務に対応できるよう、指導・研修を行った。また地域の拠点という役割から、地域団体との交流を深め、事業の支援を行った。 ②エレベーター設備改修等大規模修繕の計画を提示した。						<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決				
未解決の課題	①LED照明賃借料については、ロ金(ソケット)がJIS規格とされるなど当初想定していなかった事態が発生した。エネルギー推進委員会、ワーキンググループでの検討により導入が見送られたため、予算執行が0円となった。										
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性(課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	①マイナンバー等新たな事務について全職員が対応できるよう、情報の収集・研修・指導を行う。また、地域の拠点として現状・課題を把握し、認識を深めて行けるよう努める。 ②老朽化した設備の改修を進めるほか、より具体的な検討を重ねる。 ③LED照明賃借料については、平成26年度に予算化済。						A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ※□事業完了				

評価者名 玉縄支所長 木村 浩之

